



自民党

埼玉県議会議員

県政報告

令和2年 夏号

# 美田むねあき

み た

発行：埼玉県議会自由民主党議員団  
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91  
TEL：048-951-5826  
FAX：048-951-5926



今年度の所属委員会 福祉保健医療委員会(委員長) / 経済・雇用対策特別委員会(副委員長)

## 県議会6月定例会

### 新型コロナウイルス感染症拡大に備え体制強化へ

## 過去最大規模の補正予算を議決!!

一般会計  
補正予算

【第5号】 約 **107億4,118万円**  
【第6号】 約 **1,484億4,435万円**



福祉保健医療委員長として議会最終日の7月3日、本会議において委員会報告を行いました。

### 福祉保健医療委員長として 新型コロナ対策等の議案審査をリード

私が委員長を務める福祉保健医療委員会は、6月定例会において新型コロナウイルス感染症に対する県の施策等について、特にPCR検査等検査体制の整備及び病床の確保や、緊急小口資金等の特例貸付に希望者が殺到し複雑化している市町村社会福祉協議会に対する県の支援策について議論しました。

また、県民の生命を守り、生活を支えるために日々奮闘する全てのエッセンシャルワーカーの方々に対して、県民を代表して敬意と感謝の意を表するとともに、我々も県民の生命を守り、生活を支えるために全力で取り組むことを誓う「**エッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議**」を同委員会として取りまとめ本会議に提出。全会一致で採択しています。

県議会6月定例会は6月15日から7月3日にかけて開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を盛り込んだ一般会計補正予算『【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円』の計上等を議決しました。

その内訳は、【第5号】補正予算は、民間によるPCR検査体制のさらなる充実と、30分で結果が分かる**抗原検査の導入**等に30億3,901万3千円、中小企業に対する支援として「新型コロナウイルス感染症対応資金<sup>※1</sup>」及び「経営安定資金<sup>※2</sup>」の**融資枠を拡大**するために56億2,690万円、さらに、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校の**ICT環境の早期整備**のために9億3,192万9千円が計上されています。

【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、新型コロナの入院患者を受け入れる医療機関の空き病床に助成する事業が盛り込まれています。その他、感染症専門医など4人1組の「**COVMAT(コロナ対策チーム)**」を設置する事業に約1億1,509万円、県内の中小企業や個人事業主を対象とした**家賃支援**に約120億2,354万円が計上されています。

6月定例会ではさらに、私たち自民党県議団が提案した、県の新型コロナウイルス対策を検証するための特別委員会の設置を決めています。

※1＝埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金については、埼玉県庁産業労働部金融課 企画・制度融資担当 ☎048-830-3801 へご相談ください。  
※2＝経営安定資金はじめ、経営あんしん資金、緊急借換資金については、地元の商工会議所・商工会、またはお取引のある金融機関へご相談ください。

※【第5号】【第6号】補正予算の主な事業概要は2頁に掲載しています。

「新型コロナウイルスにともなう、あなたが使える緊急支援」

自民党のホームページをご参照ください。→<https://www.jimin.jp/covid19/>



## 中小・小規模事業者等への資金繰り支援

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金需要への対応

制度融資枠の更なる拡大 8,000億円 ⇒ **1兆2,000億円**

(1) 新型コロナウイルス感染症対応資金の拡充	
◆ 融資枠の拡大	5,000億円 ⇒ <b>7,500億円</b>
◆ 資金の概要	当初3年間無利子・無担保・無保証料 融資限度額：3,000万円
【参考】 これまでに実施した主な資金繰り支援策	
<b>新型コロナウイルス感染症対応資金の創設</b> ・国の緊急経済対策との連動により、当初3年間無利子・据置最大5年の新たな資金を創設 ・融資枠：5,000億円	
<b>経営安定資金、経営あんしん資金の拡充</b> ・融資利率の引下げ(▲0.5%) ・融資限度額の拡大(5,000万円→最大1億6,000万円) ・融資期間の延長(7年以内→10年以内) ・据置期間の延長(1年以内→5年以内)	
<b>緊急借換資金の創設</b> ・融資限度額：1億5,000万円 ・融資期間：10年以内(据置1年以内)	

  

(2) 経営安定資金の拡充	
◆ 融資枠の拡大	500億円 ⇒ <b>2,000億円</b>
◆ 資金の概要	災害復旧 融資利率：0.5% 保証料：0.8% 特定業種 融資利率：0.6% 保証料：0.68% 融資限度額：最大1億6,000万円

## 県立学校におけるICT環境の整備加速化

「1人1台端末」の早期実現とオンライン学習の充実

児童生徒に1人1台端末環境の整備	オンライン学習のための通信環境の整備
1億167万5千円	6億3,832万7千円
① 義務教育段階の児童生徒1人1台端末整備を今年度中に実施 ※高校段階の生徒についてはBYODの導入も含めて1人1台端末を実現 ② 障害のある児童生徒が、端末の使用に当たって必要となる入力支援装置を整備	① 新型コロナウイルス感染症拡大等により今後起こり得る臨時休業等の緊急時にも備えた通信環境整備 ・県立学校すべてに大容量高速通信回線を新規整備 ② オンライン学習等を実施するためのカメラなど通信装置の整備 ③ Wi-Fi環境が整っていない家庭にモバイルルーター貸与
⇒ 1人1人に寄り添った深い学びの実現	⇒ 双方向型オンライン学習(補習学習、家庭学習)の充実

### Profile

■昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる ■彦郷小学校～城北学園中・高等学校～日本大学商学部 ■あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタアルマイト工業(有) ■平成21年 三郷市議会議員(連続2期) ■令和元年 埼玉県議会議員(2期目) ■三郷高等学校PTA・後援会顧問 ■三郷親睦会リーグ会長

# 県議会6月定例会 補正予算【第5号】【第6号】から

## 主な事業をご報告します



事業名	金額(千円)	事業概要
中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援(産業労働部)	<b>12,023,547</b> 【第6号】補正予算	厳しい経営状況に置かれている県内中小企業や個人事業主等に家賃支援金を支給(貸借人・賃貸人に支援)
中小企業に対する資金繰り支援(産業労働部)	<b>5,626,900</b> 【第5号】補正予算	県制度融資枠(新型コロナウイルス感染症対応資金と経営安定資金)を拡大
緊急小口資金等の特例貸付の実施(福祉部)	<b>13,667,941</b> 【第6号】補正予算	緊急小口資金等の特例貸付を継続するために必要な貸付原資を補助
介護・障害福祉サービス等に対する感染症対策・再開支援(福祉部)	<b>29,715,945</b> 【第6号】補正予算	介護・障害福祉サービス等を提供する事業者の感染症対策やサービス再開に向けた経費を補助。またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給
児童福祉施設等における感染拡大防止対策支援(福祉部)	<b>2,941,564</b> 【第6号】補正予算	感染拡大防止のための備品・衛生用品等の購入経費及び感染症対策等に関する派遣指導・相談窓口設置等にかかる経費を補助
県民相談体制の強化(保健医療部)	<b>1,166,666</b> 【第6号】補正予算	県民サポートセンターの継続、帰国者・接触者相談センター業務の郡市医師会への委託継続等
検査体制の強化(保健医療部)	<b>1,455,276</b> 【第5号】補正予算 <b>80,839,406</b> 【第6号】補正予算	抗原検査の保険適用承認に伴う公費負担、PCR検査の民間委託及び民間検査機関のPCR検査機器整備への助成、発熱外来PCRセンターの検査体制の拡充、医療機関等への感染防護具等の追加配布、入院医療機関の病床確保等への支援、医療機関・薬局等の感染防止対策、医療従事者等への慰労金の支給等
妊産婦への総合的な支援(保健医療部)	<b>830,982</b> 【第6号】補正予算	妊産婦への寄り添い型支援、分娩前PCR検査費用の助成、PCR検査を実施する産科医療機関の設備整備への助成等
市町村事業への助成(保健医療部)	<b>1,045,000</b> 【第5号】補正予算 <b>1,045,000</b> 【第6号】補正予算	国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し市町村が実施する感染拡大防止や医療対峙の整備等へ助成【第5号】及び、負担率が国10/10に拡大されたことに伴う増額【第6号】
学校教育総合支援事業(教育局)	<b>101,472</b> 【第5号】補正予算 <b>1,971,200</b> 【第6号】補正予算	臨時休業にともなう学習の遅れを解消するため、学習指導員を配置する市町村へ補助を実施

7月は  
虐待ゼロ  
推進月間

**虐待防止を  
強く訴えます!**



駅に貼り出された啓発ポスター

埼玉県では、虐待禁止条例の交付が7月11日であったことと虐待通報ダイヤル「#7171」の番号に因んで、7月を虐待ゼロ推進月間として取り組んでいます。期間中は県内主要駅などでのポスターの掲示、県内金融機関での啓発用うちの配架、「彩の国だより」7月号及び県内市町村広報誌に記事掲載等々、様々なシーンで虐待防止の啓発活動が展開されています。



※「埼玉県虐待禁止条例」は、児童虐待、高齢者虐待及び障害者虐待に関する施策を推進するために、私たち自民党県議団が平成29年6月定例会に提案・採択され、平成29年7月11日に公布されました。(施行は平成30年4月1日)

## 三郷市の保育所等の待機児童数

**前年比で50人減も県内ワースト3位**

令和2年度4月1日現在の保育所等の待機児童数は、1,083人で、前年から125人減少したものの、未だ多い状況が続いています。

その中でも三郷市は対前年比で50人減と、県内トップの減少数となりました。しかし残念ながら待機児童数は64人もおり、県内ワースト3位という結果になっています。1日も早く待機児童0が実現するよう取り組んでいかなければならないと考えます。

市町村名	待機児童数	対前年増減数
1 さいたま市	387	▲6
2 朝霞市	68	19
3 三郷市	64	▲50
4 和光市	55	15
5 新座市	49	▲19
6 白岡市	47	29
7 久喜市	40	18
8 川口市	38	▲38
8 狭山市	38	▲4
10 蓮田市	36	4
11 八潮市	35	35
12 草加市	34	27
13 北本市	29	29
14 富士見市	27	8
15 志木市	22	▲25
16 越谷市	19	▲27
17 杉戸市	18	▲10
18 春日部市	17	12
19 上尾市	15	0
19 入間市	15	▲3
21 熊谷市	6	0
21 東松山市	6	▲30
23 ふじみ野市	5	3
24 吉川市	3	▲5
25 三芳町	2	2
25 所沢市	2	▲12
25 滑川市	2	▲14
25 川越市	2	▲18
25 蕨市	2	▲44



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」**密閉**「**密集**」**密接**」を避けましょう!